

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社あらた（証券コード:2733）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-

■格付事由

- 業界第2位の日用雑貨品卸売業大手で、3位以下の同業卸を大きく引き離す。多数の国内外のメーカーとの取引を有し、化粧品、洗剤、紙製品、家庭用品、ペットフードなど幅広い品目を取り扱う。ドラッグストア（DgS）、ホームセンターをはじめとした小売業者を顧客とし、DgS 向けが連結売上高の約5割を占める。長期経営ビジョンにおいて生産性の改善を掲げており、23年3月に省人化・省力化を目指し、最新鋭機器を導入した「ツルハ関東物流センター」を新設した。
- 全国規模の営業、物流、ネットワークの構築、主要顧客との良好な取引関係など、強固な事業基盤に特段の変化はみられない。アフターコロナを見据えた品揃えの強化や提案力の向上も進んでいる。物流費や光熱費といったコストの動向には留意する必要があるが、物流効率化など生産性の向上に取り組んでおり、引き続き、現状の収益力を維持出来る公算が大きい。また、堅実な財務運営が行われており、現状程度の財務構成を維持していくとみられる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期売上高は8,700億円（前期比1.5%増）、経常利益は140億円（同1.9%増）と予想されている。行動制限の緩和に伴うコスメの需要増加やペット用品の販売伸長などが寄与する見通し。物流費や光熱費の上昇に対しては、省人化・省力化に向けた物流機器の導入や庫内の人員最適化による人件費削減などに取り組むことで利益への影響を抑制している。引き続き、主要顧客との取引深耕や新規顧客の開拓、DX推進による生産性の更なる改善を図ることで、堅調な業績を確保出来るとJCRでは考えている。
- 22年12月末の自己資本は1,015億円（21年12月末954億円）、自己資本比率は31.7%（同31.3%）と健全な財務基盤を維持している。今後も物流体制の強化などに向けた設備投資が継続して実施されるが、営業キャッシュフローの範囲内に収まるとみられる。利益蓄積に伴う自己資本の増加もあり、現状の財務健全性が損なわれる懸念は小さいと予想される。

（担当）大塚 浩芳・金井 舞

■格付対象

発行体：株式会社あらた

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
120%コールオプション条項付第2回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付）	60億円	2018年7月24日	2023年7月24日	利息を付さない	A-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年4月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社あらた
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル